

【令和3年度 第3回大山町総合教育会議】 議事録

日時 : 令和4年2月8日(火) 午前11時00分～午前11時50分
場所 : 名和公民館 第1会議室
町長 : 竹口大紀
副町長 : 吉尾啓介
教育長 : 鷺見寛幸
出席委員 : 向陽寛孝、池嶋順子、兜山洋美、湊谷紀子
欠席委員 : なし

その他の出席者 : 教育次長(前田)、幼児・学校教育課長(田中)、
財務課長(井上)、こども課長(角田)、幼児・学校教育課 担当者(当別当)

参観人 : 3人

日 程

1. 開会宣言

教育長
令和3年度第3回大山町総合教育会議を始めます。

2. あいさつ

町長
本日は大変お忙しい中、出席いただきましてありがとうございます。教育委員の皆様方には、日頃から大山町の教育環境の充実を始め、様々な視点からご意見を頂いていますことを、この場を借りて感謝申し上げます。議会で、12月に陳情の審査があり、子育て世帯の経済的負担の軽減を更に進めていくべきだと意見がありました。それに対応する形で、来年度、小中学生の修学旅行費の経済的な助成を担当課と考えています。また、一昨年から、国でも3歳児以上の保育料無償化が進められていますが、大山町では、2歳児の保育料の無償化を考えています。皆様から、忌憚のないご意見をいただきながら、大山町の子育て施策、教育環境の充実について、更に進めていきたいと思っています。本日は宜しくお願い致します。

教育長

先月末は第6派の感染拡大で休校等ありましたが、日頃から学校では感染症対策に努めております。今後も、子ども達の健康と安全、学びを保証することを頑張っていきたいと思っております。今日は、限られた時間ですが忌憚のないご意見をいただき、有効な会議になりますようご協力を宜しく申し上げます。

3. 議事日程の報告

日程第1

会議時間の決定

自 午前9時30分 至 午前12時00分

日程第2

(1) 小中学生の修学旅行費補助について

教育長

こども課長から説明をお願いします。

こども課長

来年度、子育て支援策の一環として修学旅行費の助成を考えています。保護者の経済的負担軽減を目的としています。コロナ以前の修学旅行費の平均は、小学校は2万5千円前後、中学校は7万円前後の個人負担がありました。町としては、3分の2の助成を考えており、小学校は1人2万円、中学校は1人5万円を上限と考えています。来年度の補助金対象人数として、小学校は4校で122人、中学校は3校で117人と考えています。金額として、小学校は244万円、中学校は585万円、合計829万円の予算になります。修学旅行先として、小学校は広島方面、中学校は中山中、大山中が東京方面、名和中が沖縄方面を考えています。

町長

財源としましては、ふるさと納税をして頂いた寄付金を財源として考えています。

教育長

ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

委員

来年度、コロナ対策で修学旅行が県内の場合でも補助対象になりますか。

こども課長

上限という形で示していますので、経費の金額が小学校は2万円以下、中学校は5万円以下であれば全額補助を考えています。

委員

修学旅行先に関係なく、修学旅行費は高額になりますので賛成です。ふるさと納税の寄付金が減ったから出来ないといったことがないよう、ずっと続けていただける算定があれば良いと思います。

教育長

継続性についてはいかがでしょうか。

町長

方針としては続けていくと考えていますし、継続できると考えています。

委員

経済的な面で苦しいご家庭もおられると思いますので、ありがたい補助だと思います。

教育長

委員の皆様から、とても良い補助制度だと意見をいただきました。

町長

最終的には議会の承認がありますが、皆様の後押しを頂きながら頑張ってまいりたいと思います。宜しくお願い致します。

(2) 2歳児の保育料補助について

教育長

幼児・学校教育課長から説明をお願いします。

幼児・学校教育課長

大山町の人口について、令和3年度の未就学園児が636人、その内3歳未満児は252人、2歳児は93人になります。町内保育施設の入所数について、令和3年度の年度末の入所人数は575人、内3歳未満児は202人、2歳児は83人です。令和4年度の入所人数の見込について、現段階では511人、その内3歳未満は189人、2歳児は82人です。入所割合について、令和3年度の全体の入所割合の見込みは90.4%、内3歳未満児は80.2%、2歳児は89.2%となります。令和4年度の全体の入所割合の見込みは90.3%、内3歳未満児は80.8%、2歳児は90.1%となります。入所割合が9割を超えている状況ですが、理由として、転入により年度途中の入所が多いことに伴い入所割合が高くなる傾向にあること、また、広域入所により町外施設に入所していた児童が、ひめぼたる保育園ができたことにより、町内保育園へ入所が増えたため割合が高くなっています。平成31年1月に行った子育て支援に関するアンケート結果に「子どもが2歳までに仕事に復帰する」と答えた保護者の割合は92%とありましたので、これからも2歳児の入所割合は9割を超えると考えています。令和4年度入所予定は2歳児の合計人数91人に対し、町内の保育施設に入っている児童数は79人、その他の届け出施設に入っている児童数は3人、未就園児は9人になります。令和4年度2歳児の保育料無償化とした場合の見込み額として、町内入所予定の79人と転入予定の3人をいれ入所予定数を82人、延べ利用月数を967月、一人当たりの平均保育料を令和3年度の平均額の13,288円で計算した12,849,000円と見込んでいます。鳥取県中山間地域市町村保育料無償化モデル事業費補助金として県の補助金が2分の1見込めますので、町の財源としては6,424,000円となります。参考までに、0歳、1歳児の11,938,000円が保護者から徴収する見込み額となります。町が独自で保育料を軽減する金額は22,561,000円になりますが、この半額を県からの補助で賄うということで11,280,000円となります。

町長

施設の容量、保育士の数への影響が出ない範囲で無償化を行っていきたいと思います。

委員

大山町は働きながら、安心して保育園に預けられる環境が整っていると思います。保育園で手厚く保育されても、家庭でなければ補えないこともあります。家庭でも愛情を注ぐことを大切にして、充実した子育て期間を保護者の方には過ごして頂きたいと思いません。

委員

鳥取県中山間地域市町村保育料無償化モデル事業費補助金は確実につかえますか。また、大山町以外にも、この補助金を使っている市町村はありますか。

幼児・学校教育課長

対象となる市町村は他にもありまして、すでに全額無償化に取り組んでいる自治体もあります。町が単独で保育料を無償に限らず軽減する施策に対しては、県で補助金の対象となります。

委員

大山町が第1号というわけではなく、すでにこの補助金を使って進めている自治体があるということですね。県の補助によって、少ない金額で無償化に出来るのはとても良いことだと思います。また、働く保育士さん達のことも考えながら、見通しをもってやっていただきたいと思います。

町長

鳥取県中山間地域市町村保育料無償化モデル事業費補助金は、国の無償化が始まる前から鳥取県がやっている制度です。国の無償化に先行して大山町では、3歳児以上児の無償化も補助金を使って取り組んできました。確実に使える補助金になります。今は、保育士の正職員の採用を増やし、担任も全て正職員が担当できる数になっています。保育園のクラスによっては、副担任も正職員が担当するといった改善を測っていますが、引き続き改善をしていきたいと思います。保育園に子どもが入所することで、女性が働きにくい環境を少しでも解消できるよう目指しています。女性活躍、女性の社会進出の壁にならないよう、無償化にすることによって収入面、負担面で迷うことなく、仕事に復帰することができればと考えています。

委員

共働きが当たり前の時代ですので、助かる施策だと思います。

委員

全額補助になると女性の働きやすさは変わってくると思います。補助があることによって意識も変わっていくと思いますが、女性も男性も、自分達が子どもを育てていく意識を持ちながら、協力して子育てを頑張っていただきたい。保護者研修も更に充実していただきたいと思います。

町長

こども課では男性の家事育児の負担割合が高まるように、いろいろ施策を考えています。

委員

中学生が小さい弟や妹をみるために、部活動に行くことができないといったことも現実にありますので、保育所に預けることによって、中学生も部活動等やりたいことを力いっぱいできるようになることは良いことだと思います。保育所に預けている時間以外にコミュニケーションを取れるように、心の負担や生活の負担を減らすことができれば家庭にとって一番良いことだと思います。

委員

3歳まで、自分で子どもを育てたいと思われている家庭に補助等はありませんか。

町長

1歳児までは家庭保育支援給付金はありますが、2歳児は対象外です。子育て支援センター等、保育施設以外でも子育てをされている保護者の方を支援する様々な取組がありますので、そちらでカバーしていきたいと考えています。

教育長

保護者の意識啓発、家庭教育の大切さは、保育園でのいろいろな場面を通じて、教育委員会でも親教育の推進に取り組み、行政では家庭の保育料の軽減に取り組んでいくといったように、両方で上手く進めていく形を取っていきたいと思います。委員の皆様から2歳児の保育料補助について、とても良いというご意見をいただきました。

(3) その他

4. その他

特になし

教育長

本日はお忙しい中ありがとうございました。以上で令和3年度第3回総合教育会議を終わります。ありがとうございました。

5. 閉会宣言

午前11時50分